

平治宿・靴置場の外壁張り作業他

◇ 実施日 平成26年09月07日(日) 曇り時々晴間

◇ 参加者 沖崎吉信、川島 功、瀧本昭太郎、青木宏充、

生熊敏男、生熊千満子、畑林清子、斉藤和美 計8名

本山行の作業は、①靴置場の外壁(ポリカーボネート波板:W30×L213cm)・横板張り。②当初、ロケット・ストーブの煙突(径105mm)延長であったが、根木さん寄贈の煙突一式は、径115mmであり煙突再据付。③屋根の煙抜き西側密閉(冬季煙抜きの板隙間から室内への雪の吹込み防止)である。

秋雨前線が紀伊半島南部に停滞し、沖縄周辺で台風14号の発生のため、前線の位置により豪雨に見舞われる予報であり、土曜日昼の天気予報迄待って、昼前から回復する予報になり会行事の実施を決める。

夜半より時々強い雨が降っていたが、出発時には小雨から曇天になる。

下北山村スポーツ公園にて、行仙宿で前泊した青木さん、和歌山からの瀧本・斉藤さんと合流し、沖崎車に青木・斉藤さん、川島車に瀧本さんが分乗する。

池郷林道を辿ると。舗装道路に落石があり、先導の沖崎車はその度に除石している。ゲートからの地道は、もっと荒れていると想定されたが、意に反して順調に走行出来た。

9時過ぎに持経宿着。生熊さんは、裏山の雑木伐採材から薪を

作り、その薪を沖崎車で運び込んだので薪小屋に積み込む。これで2回目の薪補充であり、生熊さんありがとう。

不動堂前で導師生熊さんにて峰中安全の般若心経を唱和。

長い荷姿の煙突一式は斎藤さん、長尺波板は青木さんが担ぐ。



煙突一式を担ぎ出発！ 千年檜祠前で荷点検 中又尾根手前Pで小休止
雨上がりで湿度が高く汗が吹き出る。この所の雨続きで道端・腐木には、黄色・紫色等の茸が例年より多く生えている。食用になる茸もありそうだが、判別する知識を持ち合わせていない。
中又尾根分岐手前ピークで小休止。畑林さんから冷たいゼリーの差入れがあり、冷たいゼリーが美味しい。

平治宿10時半着。作業内容を説明し、靴置場の防腐剤塗りは瀧本、靴置場の横板10枚強の鋸切りは生熊・青木、ストーブ煙突再据付は川島。沖崎・女性陣は、水場点検と水汲みに分れて作業をする。水場の水汲み用の雪平鍋が紛失しており次回補充要。

その後、靴置場の横板張り、屋根上の西側煙抜きの板を外し、外した板とポリカーボネート波板を採寸切断した時点で昼食。

斉藤さんからさつま揚げ・自製天麩羅。即席味噌汁等で各自腹

ごしらえ。食後に生熊さん暖かいコーヒを入れて下さる。
昼食後、女性陣は転法輪岳(Ⅱ等・点名:池峰、1281.2m)へ。



靴置場の作業中

談笑しながら昼食

本日の作業終了!

靴置場外壁のポリカーボネート波板張りは生熊・沖崎・青木、その後薪作りなどの作業。

西側煙抜きに板とポリカーボネート波板で塞ぐ作業は瀧本・川島。瀧本さんは、煙突を延長すると小屋内の排煙は良くなるが、屋根との間隔が狭く火災の心配があるとの事から、東側煙抜き側から屋根上に出る様に煙突を延長する作業を追加する。

この作業に伴い、煙抜きの板を取外し、その板で煙突の径より大きく切り塞いで防腐剤を塗る。

内部から確認すると煙突と板壁の間隔が少なく、発熱発火も想定され応急処置をする。次回再手直しと板壁上にトタン板を張る事にして作業を終了する。

尚、屋根のトタンペンキ塗り作業が新規懸案事項と判る。

持経宿に戻り、不動堂のシキミを取替へ無事下山のお祈りをして持経宿を発ち、下北山村スポーツ公園で解散。

佐田坂を下る頃より、雨が降りそうな空模様になる。



完成した靴置場

下山前に記念撮影

行動タイム

新宮 7:00 → 8:15 下北山村スポーツ公園 8:30 → 9:10 持経宿
9:35 → 10:35 平治宿(昼食 11:40 ~ 12:20) 14:15 → 15:10 持経宿
15:35 → 16:10 下北山村スポーツ公園 16:20 → 17:30 新宮。

寄贈品

- ・ 煙突一式(80 cm : 3、60 cm : 2 エルボ : 1、H型排煙筒 : 1、
外壁仕切り板 : 2、煙突支持金具 : 3) ; 根木俊明
- ・ ポリカーボネート波板(7尺) + 釘類 ; 川島 功
- ・ ポリカーボネート波板(半反) ; 児嶋道夫

(記 川島)